

平成25年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	加工原料乳等生産者経営安定対策事業交付金		担当部局	生産局	作成責任者						
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～未定		担当課室	畜産部牛乳乳製品課	牛乳乳製品課長 菅家秀人						
会計区分	一般会計		政策・施策名	②国産農畜産物を軸とした食と農の結び付きの強化							
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人農畜産業振興機構法第10条第2号		関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画 酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	加工原料乳価格等が需給変動等により低落した場合に、生産者の拠出と国の助成金による生産者積立金によりその一定部分を補填し、加工原料乳生産者補給金制度と一体となって、酪農経営の安定を図り、もって、生乳の再生産の確保及び牛乳乳製品の安定供給に資する。										
事業概要 (5行程度以内、別添可)	(1)加工原料乳生産者経営安定対策基金造成事業 (造成主体:指定生乳生産者団体) 基金設置年度:平成13年度、運用形態:取崩し型、事業形態:補助 加工原料乳価格が補填基準価格(過去3年間の平均取引価格)を下回った場合に、各指定生乳生産者団体 (全国10ブロック)に生産者と国の拠出(1:3)により設けた加工原料乳生産者積立金により、加工原料乳の生産者 に補填金(価格低落の8割)を交付する。 (2)経営安定対策推進事業 (事業実施主体:指定生乳生産者団体) 生産者積立金の管理、補填金の交付等の業務を実施するに当たり必要な経費を助成する。 (国から(独)農畜産業振興機構への補助率:定額(指定生乳生産者団体分は1/2以内))										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他										
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求					
	当初予算	22	17	13	12	11					
	補正予算	—	—	—	—						
	繰越し等	—	—	—	—						
	計	22	17	13	12	11					
	執行額	22	17	13							
執行率(%)	100%	100%	100%								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値				
	農家手取りが補填基準価格(※)を下回った際に、生産者に対して支払われた補填金総額。 ※ 加工原料乳価格及びチーズ向け生乳価格(農家手取り)の過去3年間の平均取引価格。農家手取りが基準価格を下回った際には、低落分の8割を支払うこととなっている。		成果実績	円	0 (-)	0 (-)	0 (-)	—			
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込				
	本事業は、生乳の生産量を平成32年度に800万トンにするために、酪農経営の安定を図ることを目的としており、補填基準価格に対する農家手取り額の比率を活動指標として設定。		活動実績 (当初見込み)	農家手取り/補填基準価格	1.052	1.041	1.062				
単位当たりコスト	1,222(千円/団体)		算出根拠	平成24年度補助金額/事業実施主体数 (13,441千円/11団体)							
	平成23年度 1,527千円(16,801千円/11団体) 平成22年度 2,000千円(22,000千円/11団体)										
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由							
	システム改良費	2	7	平成26年度にシステムの更新・改良を行う必要があるため、予算の範囲内で内訳を見直した。							
	全国会議費	0	0								
	全国指導旅費・印刷費	1	1								
	情報処理及び通知に要する経費	3	1								
	ブロック会議費	4	1								
	ブロック指導旅費・印刷費	2	1								
	計	12	11								

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明
国 必 要 投 入 性 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく生産者補給金の交付を受ける前提として必要な生産者の拠出分と国費とにより、加工原料乳価格等が需給変動により低落した場合に、補填金を支払うものであり、基本計画・酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために位置付けられている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく生産者補給金の交付を受ける前提として必要な生産者の拠出分と国費とにより、加工原料乳価格等が需給変動により低落した場合に、補填金を支払うものであり、基本計画・酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために位置付けられている。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	本事業は、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく生産者補給金の交付を受ける前提として必要な生産者の拠出分と国費とにより、加工原料乳価格等が需給変動により低落した場合に、補填金を支払うものであり、基本計画・酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために位置付けられている。
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—		
事業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低成本で実施できているか。	○	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
点検 結果			
	・本事業は、加工原料乳価格等が需給変動等により低落した場合に、生産者の拠出と国の助成金による生産者積立金によりその一定部分を補填することにより、酪農経営の安定を図るものであり、優先度が高い事業である。 ・基金残高は、保有割合も1程度となっており、過大なものとはなっていない。		

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

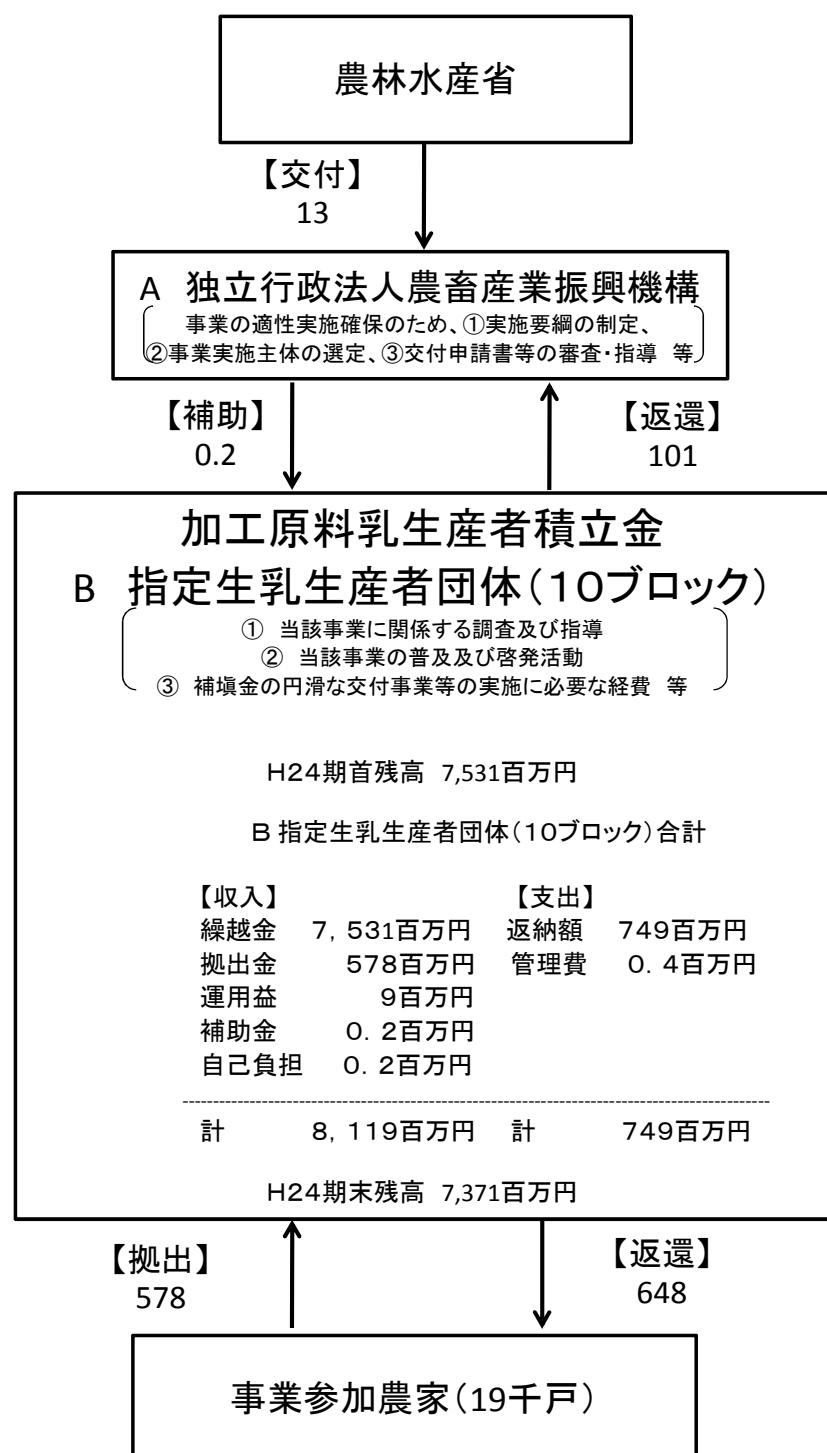
現状 通り	本事業は特に問題はないものの、引き続き適切な事業執行に努め、事業が適正なコスト意識のもとで行われているか評価を行うこと。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状 通り	本事業の目的を達成するため、引き続き、効率的かつ適切な事業執行を図ることとする。

備考

①保有割合:1.08 算出方法:補助事業(取崩し型)直近年度末の基金額(7,371百万円)÷必要補助・補填額(加工原料乳分 4,685百万円+チーズ向け生乳分 2,160百万円) 必要額 加工原料乳 3.2円/Kg(想定低落額)×0.8(補填率)×183万トン(限度数量)=4,685百万円 チーズ向生乳 4.5円/Kg(想定低落額)×0.8(補填率)× 60万トン(対象数量)=2,160百万円 ②基金の終了・廃止予定期:未定(加工原料乳生産者補給金等暫定措置法第5条に規定する積立金として、同法に基づく生産者補給金と一体となって酪農経営安定対策を構成する性格のものであるため、終了及び廃止予定期は設定していない。) ③基金の運用報告書等のHP: http://www.alic.go.jp/c-kanri/shinko01_000114.html
平成22年 0148 平成23年 0115 平成24年 0082



※生産者の拠出金は毎年度積み立てており、一定期間(3年間)後に実績がなければ返還。国費分は毎年継続積立。
H24年度において生産者拠出金額より返還金額が大きいのは、
限度数量の減少と解約者(離農家)への返還のため。

A.独立行政法人農畜産業振興機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	畜産業振興資金に繰入	11			
役務費	システム改修経費	2.1			
補助金	3指定生乳生産者団体(加工原料乳生産者 経営安定対策事業補助金)	0.2			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	補填金の円滑な交付業務等	0.2			
その他	事業に関する調査・指導	0.0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 x	システム保守料	1		
2	株式会社 y	システム変更等委託業務	1		
3	株式会社 z	会議費	0		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ホクレン農業協同組合連合会	補填金の円滑な交付業務等	0.2		
2	東海酪農業協同組合連合会	補填金の円滑な交付業務等	0.0		
3	北陸酪農業協同組合連合会	補填金の円滑な交付業務等	0.0		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					